

質の高いインフラ

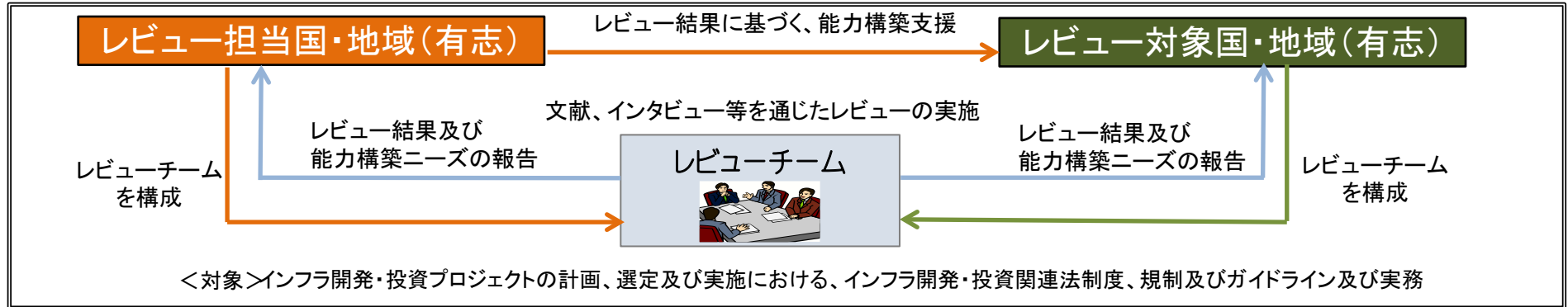
- APECは「質の高いインフラ」に関する取組を先導し、これまでに「ピアレビュー及び能力構築」スキームを立ち上げるとともに、「質の高い電力インフラ・ガイドライン」にも合意。
- ピア・レビューに関しては、これまでにフィリピンのレビューを完了し、今後能力構築を実施。また、ベトナムに対して第2のレビューを開始。

APECにおける「質の高いインフラ」に係る我が国の取組

- 2013年** アジア太平洋地域の連結性向上や更なる経済成長のためには、インフラの質が重要であることを首脳レベルで合意。
- 2014年** インフラの質において、「ライフサイクル・コスト」、「環境等への影響」、「安全性」が重要であることを説いた「ガイドブック」を作成し、閣僚レベルでこれを歓迎。
- 2015年**
 - ・APECメンバーのインフラ開発投資制度について、「インフラの質」等の観点から、個別にピアレビューし、また能力構築を行う仕組みを提案し、合意。
 - ・「質の高い電力インフラ」イニシアティブの立ち上げを閣僚レベルで歓迎。
- 2016年**
 - ・フィリピンに対するインフラ制度のピアレビューを開始。
 - ・「質の高い電力インフラ・ガイドライン」を作成し、閣僚レベルでこれを歓迎。
- 2017年**
 - ・ベトナムに対するインフラ制度のピアレビューを開始。
 - ・フィリピンに対するレビュー報告書を完成の上、貿易大臣会合に報告。

APECインフラ開発・投資ピアレビュー及び能力構築

1 APECインフラ開発・投資関連制度ピアレビュー及び能力構築の枠組み



2 フィリピンのレビュー報告書のポイント

- 「ライフサイクル・コスト(LCC)」、「環境等への影響」、「安全性」等、インフラの質を担保する観点から、フィリピンの道路関連法制度のレビューを実施。
- 通常の調達及びPPPの双方の制度をレビュー。

レビュー結果・課題

- (1) 外資参入に制約。
- (2) リソース上の問題から、LCCに基づく評価の実施は限定的。
- (3) 高速道路の相互運用・相互接続に課題。国道網の機能最適化能力に制約。
- (4) 最新のビジネスに照らしたPPP制度の更新の必要性。

能力構築ニーズ

- (1) LCC評価等を実施する人材の育成。
- (2) 政府のリスク・マネジメントをレビューする能力の向上。
- (3) プロジェクトの事後評価能力の向上。
- (4) 高速道路の相互運用・相互接続の課題解決。
- (5) PPPプロジェクトの促進に関するフィリピン行政組織間の協力向上。
- (6) PPPセンターに対するPPP法のレビュー能力向上。